



動物にはどれくらい種類があるの

150～200万種類ぐらいいる

今地球上に生きている動物は、100～150万種類ぐらいいるといわれています。これから研究が進めば、まだ新しい種類がいろいろ見つかって、200万種類以上になるのではないかと考えられています。

いちばん種類が多いのは節足動物の仲間で、約80万種になります。節足動物の中でもいちばん多いのがバッタやハチなどのこん虫類で、およそ70万種類ぐらいになり、つぎに多いのが、カニやエビなどの甲殻類で、およそ3万2000種ぐらい、このほかクモとかムカデなどのグループが、節足動物の中に入ります。

つぎに多いのが、イカやタコ、カイやカタツムリなどが入る軟体動物の仲間で、およそ11万種います。

進化の進んだ高等動物ほど、種類が少ない

進化が進んで、背骨をもつようになった動物を見てみると、魚の仲間である魚類が2万3000種、カエルなどの両生類がおおよそ2800種、カメやワニ、ヘビやトカゲの仲間である、は虫類は約5900種、鳥の仲間の鳥類がおおよそ9000種、人間やイヌ、ネコが入る、ほ乳類が約5000種といわれています。背骨のある動物を合計すると、およそ4万5000種ぐらいになります。

クラゲやサンゴ、ゾウリムシなど、原始的な動物がおおよそ4万種類ぐらいいます。ウイルスや細菌も入れると、大変な数になりそうです。植物はおおよそ30万種類といわれています。

(監修・今泉 忠明)

